

2021 5/25

No.2139

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



みなとみらい21地区で、ロープウェー「YOKOHAMA AIR CABIN」が開業した。臨海部の景色を楽しむことができる。



視点点描	3
対等な両輪の関係こそ	
講演録	4
日本の危機管理の現状と課題 ～コロナ禍と東京2020 日本製鉄顧問 第92代警視總監 高橋 清孝	
デモクラシーの現場から	8
難題直面、画車狂う戦略	
社会	10
象徴天皇制のジレンマか 眞子さまと小室さん婚約問題	
くらし2021	14
総合120位に沈む男女格差報告	
企業最前線	16
先端技術で睡眠の質を改善 OECD加盟国中、睡眠時間最短の日本	
神奈川県データファイル	18
神奈川県データファイル	19

【お知らせ】神奈川県政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045(226) 2121。

# 視点 点描



## 対等な両輪の関係こそ

相模原市議による職員へのパワーハラスメント行為が発覚した。

市の調査によると、市議は職員に「邪魔」「視野から消えて」などと無料通信アプリ「LINE(ライン)」で送信したり、議長在任中に議長室への出入りを禁じたりしていた。体調を崩し休職した職員もいるというから悪質である。市議会がすぐ議員辞職勧告決議案

を全会一致で可決し、議員辞職に至ったのも当然である。

ただ、一議員の不祥事と考えるべきではないのだろうか。私の取材経験を振り返っても、一部の議員の威圧的な態度や度を過ぎた要求に職員が困っている話はよく耳にしたからだ。

予算やまちづくりの行政情報を他の議員より早く伝えないと激怒

したり、議会質問前の打ち合わせで意に沿った答弁を確約させようと深夜まで職員に粘ったり、職員を手下のように扱ったり、と枚挙にいとまがない。有権者の負託を受けた気負いか、議員バッジを着けたおごりか、いずれにせよ職員を下に見る意識が垣間見える。

行政も、議会の同意なしに施策を動かせないため、議員の強い権限を前に腰が引けてしまう面もあるのだろう。だが、そうした卑屈な関係はハラスメント行為の温床となるだけでなく、行政の公平性や透明性もゆがめかねない。

行政と議会は本来、上下ではなく、対等な関係であるべきだ。選ばれた議員が住民の声に応え、制度改正や施策の提案を行う。公務員は行政のエキスパートとして政策の選択肢や資料・データを隠さずに示し、施策を進めていく。互いに高い志を持ち、対等な両

輪関係となることこそが住民福祉の向上には欠かせない。

埼玉県川越市議会は「ハラスメント根絶条例」を定め、議員によるハラスメント行為が疑われた時には議会が率先して必要な措置を講じ、事実が確認されれば議員名の公表などを義務づけている。議員の責務として「職員が職務遂行上の対等な立場にあること」の自覚も求めている。

相模原市議会は再発防止策の検討を進めている。多くの議会ではハラスメント防止のルールは議員のモラルに委ねられ、明文化した取り決めがないが、議会と行政が対等な立場で切磋琢磨する拠り所となるようなルールが必要なのだろう。議員と職員がともに使命感と意欲を持って仕事できる環境整備につなげてほしい。

(神奈川新聞社報道部長

高本 雅通)